

第5回水道スマートメーターに関する現地視察会及び協議会 開催報告

日 時：平成 28 年 10 月 17 日（月）、18 日（火）

場 所：東京都水道局 研修・開発センター（東京都世田谷区玉川田園調布 1-19-1）

主 催：公益財団法人 水道技術研究センター

協 力：東京都水道局

参 加：神奈川県企業庁企業局、川崎市上下水道局、東京都水道局、横須賀市上下水道局
横浜市水道局、神戸市水道局、大阪市水道局

報 道：日本水道新聞、水道産業新聞

事務局：安藤専務理事、佐々木常務理事、石田調査事業部長、斉藤主任研究員、松永主任研究員

1. 開催趣旨

水道スマートメーター協議会は、これまで4回開催してきたところであるが、実証実験をしている事業者では一定の成果が確認されはじめている。今回は東京都水道局及び関係企業の協力を得て、過去10数年に及ぶ電子式水道メーター研究開発の歴史や水道スマートメーターの実証実験の成果を把握し、意見交換を行いました。協議会では各事業者における水道スマートメーターに関する動向等を報告し合い、調査団による欧州視察成果を踏まえ、データ活用による水道事業経営の重要性やスマートメーター化の事業性評価について意見交換を行いました。

2. スケジュール

	日時	内容
17 日	13:00-15:30	東京都共同研究に関するプレゼンテーション及び意見交換会 (東京都水道局・沖電気工業・東洋計器・東京電力)
	15:45-16:30	欧州 ICT 調査報告
	16:30-17:20	研修開発センター 視察
18 日	10:00-12:00	スマートメーター関連企業プレゼンテーション及び意見交換会 (中部電力・Itron)
	13:00-14:50	スマートメーター協議会 (※)
	15:00-16:30	研修開発センター 開発品展示室 視察

※水道スマートメーター協議会は、事業者参加者による議論を目的としているため、限定公開としています。



協議会メンバー集合写真

3. 報告内容

1 部	<p>東京都水道局 実証実験に関するプレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none">●東京都水道局 「東京都水道局における自動検針の歴史」 開発課技術開発統括担当 高橋氏 「平成 27 年度実施 3 社共同研究の概要」 給水部給水課 田代氏●沖電気工業株式会社 「共同研究での無線技術検証と今後の動向」 山田氏●東洋計器株式会社 「水道・ガスの自動検針取組み事例より水道スマートメーターを考える」 営業本部 宮下氏●東京電力パワーグリッド株式会社 「スマートメーターの取組み状況」 経営企画室 下田氏 <p>実証実験の成果</p> <ol style="list-style-type: none">1. 水道メーター通信の実現にあたって、地中のメーターボックス内(鉄蓋を含む。)からのデータ伝送や電源の確保等の厳しい条件を満たす必要があり、平成 15～17 年に PHS 網を利用したフィールド試験を実施した。1,300 件調査の結果、96%の安定通信を確認した。2. 平成 26～28 年に 920MHz 帯無線通信を利用したフィールド試験を実施し、戸建住宅、集合住宅ともにメーターボックス内通信子機と宅内通信親機との正常通信を確認した。3. 使用水量や料金を見える化する効果や、みまもり通知が高齢者だけでなく子供のみまもりにつながる可能性を確認したほか、サービス価格帯のアンケート調査を実施した。4. 晴海地区における電力・ガス・水道の共同検針化に向けた検討を開始した。
2 部	<p>プレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none">●水道技術研究センター 「欧州における ICT 活用調査」 調査事業部 斉藤 ロンドン・テムズウォーター社におけるスマートメーター導入事例、オランダ・フィテン社におけるデータ活用型水運用事例、ドイツ・センサス社のメーター工場などの視察成果を報告した。●中部電力株式会社 「中部電力におけるスマートメーター導入の取組みについて」 山口氏 電力業界における仕様統一化の経緯と効果、3.5 年間に及ぶメーター及びシステム開発プロジェクトの概要、社会インフラ(AMI)として今後の活用策を検討している状況を紹介いただいた。●アイトロン社 「Itron スマートメーターについて」 南舘氏 業界トップシェアを誇る同社より、海外における水道スマートメーター活用事例及び料金徴収管理業務等のクラウドサービス(TEMETRA)事例を紹介いただいた。